

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2019年7月27日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	浜松市	代表者名	市長 鈴木 康友
担当者部署	市民部	連絡先電話番号	053-456-0234
担当者役職		担当者氏名	
住所	430-0947 静岡県浜松市中区松城町		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	浅野 隆夫
評価	大変よい
上記評価の理由(どのよう なところがよ かったか等詳 細に)	実例に沿った解説は経験の少ない参加者にも分かりやすい内容であった。担当職員にとっては、本市の実情と比較しながら聴講することができた。事前質問に関して、関係機関に個別に調査をしていただいた。
アドバイザーへの要望事項	質疑応答の時間をもう少し確保できるとよかった。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2019年7月24日	15時30分	17時00分		90
3-2. 派遣場所	会場名	浜松市立中央図書館		最寄駅	JR浜松駅
	所在地	静岡県浜松市中区松城町214-21			
	最寄駅からの交通手段	遠鉄バス館山寺線ほか「市役所南」下車徒歩3分			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="checkbox"/> 掲載可
------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	職員	13人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	電子図書については、ターゲットとなる利用者層と提供すべき資料の種類をマッチングするための情報分析及び資料収集方法の研究。関係機関、団体との連携。デジタルアーカイブのオープンデータ化については、MLA連携の在り方や所有者との権利関係の調整。	
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	浜松市立中央図書館における電子図書の本格導入及びデジタルアーカイブのオープンデータ化	
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	札幌市の電子図書館導入に係る実証実験から本格導入に至る経緯、コンテンツや価格、システムデバイスに係る課題、電子図書の有用性と活用方法を解説いただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	本市での電子図書本格導入に向けて、導入目的に沿った蔵書構築の方向性を定めることができた。今後地域資料の更なるデジタル化と活用について検討していく。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	デジタルアーカイブのオープンデータ化については、今回の講師から助言も踏まえつつ、引き続き他都市事例などを調査研究していく。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 研修の対象者は職員であり、職員へのアンケートという手法によって事業計画が変更されるものではないため、アンケート調査は行っていない。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	①予算は確保済みであり、年度内に推進する
事業の最終的な目指す姿	多文化サービスを主目的として、今年度中に電子図書を本格導入する。なお、デジタルアーカイブについては既に導入しており、今後はオープンデータ化について引き続き研究を進めていく。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2019年7月27日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(2日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	浜松市	代表者名	市長 鈴木 康友		
担当者部署	市民部	連絡先電話番号	053-456-0234		
担当者役職	館長補佐	担当者氏名	宮木 広由	連絡先E-mail	
住所	430-0947 静岡県浜松市中区松城町				

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	浅野 隆夫
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	実例に沿った解説は経験の少ない参加者にも分かりやすい内容であった。動画資料を積極的に用いた解説により、札幌市の業務の状況が視覚的に理解できた。質疑応答においても活発な意見交換がされた。
アドバイザーへの要望事項	

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2019年7月25日	9時30分	11時40分		130
3-2. 派遣場所	会場名	同上		最寄駅	JR浜松駅
	所在地	同上			
	最寄駅からの交通手段	同上			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="checkbox"/> 掲載可
------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	職員	55人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	市民ニーズの収集分析の手法の研究、時代に沿った図書館のあり方の研究、狭小な施設の中でも拡充すべき機能の選択。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	地区館にあっては、図書館の効用を発揮する企画展示や講座等の開催。中央図書館にあっては、図書館の効用を発揮する企画展示や講座等の開催と、それらを可能にするためのレイアウト変更など大規模改修。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	多くの利用者を集める札幌市図書・情報館の設置計画から現在の事業の展開に至るまでの事例を基に、人と人、人と情報を結びつけるための図書館づくり、ソフト事業づくりについての教示。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	面積的に制限のある空間での蔵書構成に関する考え方、来館者増に向けた魅力的な棚づくりをはじめとする事業の実施体制などについて、各自が意識を醸成する機会となった。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	中央図書館の大規模改修については令和3年度の実施に向けて準備を進めているものであり、他都市事例を含めて引き続き研究を進めていくべきものである。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 研修の対象者は職員であり、職員へのアンケートという手法によって事業計画が変更されるものではないため、アンケート調査は行っていない。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	棚づくり等参考となる点については、随時改善していく。中央図書館の大規模改修については令和3年度の実施を目指す。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

